

2023年6月22日

令和 4 年度政務活動費に係る収支報告書

青森県議会議長 丸井 裕 殿

青森県議会議員 吉俣 洋

1 収入

(政務活動費交付額) 3,720,000 円

2 支出

経 費	金額(円)	主 な 内 容
調 査 研 究 費	1,707,534	会派共通経費、通行料、航空券
研 修 費	35,520	参加費、テキスト代
広 聴 広 報 費	1,177,887	ホームページ更新料、活動報告印刷代、配布料
要請陳情等活動費	0	
会 議 費	1,260	ガソリン代
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	80,957	図書購入費
事 務 所 費	0	
事 務 費	0	
人 件 費	0	
合 計	3,003,158	

3 差引

(収入額－支出額) 716,842 円

費目ごとの^{あん}按分率一覧

議員名

吉俣 洋

1 事務費

(1) 固定電話・ファクシミリ(番号ごとに記載)

電話 ファクシミリ (番号 - -) 自宅設置 事務所設置

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 通話時間

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合 按分率

(2) ネット回線使用料・プロバイダ料

契約先 () 自宅設置 事務所設置

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 接続時間

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合 按分率

(3) 携帯電話 (番号 - -)

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 通話時間

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合 按分率

(4) 情報端末(タブレット等)

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 通信時間

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合 按分率

(5) 消耗品、備品等

政務活動以外にも使用 後援会活動 実態による場合

政務活動専用 政党活動 使用頻度

私的活動 その他 []

実態によることが著しく困難な場合 按分率

2 広聴広報費

(1) 広報紙の作成、発行等に要する経費

政務活動以外の部分を含む 後援会活動 紙面割合による場合

政務活動のみ 政党活動 紙面割合によることが著しく困難な場合 按分率

(2) ホームページの作成等に要する経費

政務活動以外の部分を含む 後援会活動 面積割合による場合

政務活動のみ 政党活動 面積割合によることが著しく困難な場合 按分率

政務活動実績報告書

議員名 吉俣 洋

事業名	学生への住宅政策、子育て支援策の取り組みについて聞き取り・視察調査			
経費	調査研究費			
実施年月日	04.05.26~04.05.28			
場所	兵庫県神戸市、明石市			
同行議員	なし			
目的	<p>子育て支援策が喫緊の課題とされるなか、兵庫県明石市は、全国で先駆けて「子育て支援 5つの無料化」にとりくみ成果をあげてきた。子育て支援を中心にした行政運営で街がどう変わったのか、財政状況などの課題をどう克服したのか、本県に生かせる行政の姿勢がどこにあるのかを学び、本県の子育て支援策に生かすことを目的とする。また、明石市と神戸をまたぐ大規模な団地(明舞団地)で、学生の入居を促進している事業から、学生や子育て世代にアプローチする住宅政策のとりにくみを学ぶ。</p>			
日程	<p>2022年5月26日(木): 自宅 —(自家用車)—青森空港—(航空機)—神戸(宿泊) 5月27日(金): 明石市で「あかし子育て支援センター」の視察調査 5月28日(土): 神戸 —(航空機)—青森空港—(自家用車)—自宅</p>			
訪問先及び内容	<p>2022年5月26日 明舞団地の学生の入居促進について 兵庫県が取り組んでいる学生シェアハウスについて、事業実施当初から地元の自治会役員として関わってきた 氏から話を聞いた。学生を対象に、低家賃(月17,000円ほど)で県営住宅への入居を促し、高齢化などに伴う地域コミュニティの活力低下を補う努力が行われている。学生を受け入れる際の条件は「自治会の毎月の定例会に出ること」「挨拶をすること」の2つにし、難しくないようにしている。高齢化が進む団地の中に一人でも若者がいれば、団地が明るく変わるといい、学生が卒業する時には送別会もやるということで、団地みんなで学生を育てていく気風を感じた。氏は、学生一人一人の名前を挙げてその様子を話していた。学生にとっては福祉系の研究としても役立つという。高齢化が進む地域の活力を取り戻すという点で一つの努力と考えられると同時に、学生の側からみると、低家賃で住居が保障されることにメリットがあると思う。地域にとっても学生にとっても利点があるということが取り組みとして重要だと感じた。ただ、学生が地域に溶け込むためには、「低家賃」「町会への出席」だけでは難しい側面があるとのことだった。学生の受け入れ数は制限があり、劇的に何かが変わっているということでもない。また、学生を対象にしている為地域への定住にはつながっていない。本県で考えた場合、団地周辺に多くの大学が集まっているという地理的条件は一部地域にとどまる。子育て世代も含めて若者への支援としてどう具体化できるか、探求が必要だと思った。</p> <p>2022年5月27日 明石市の子育て支援について 「あかし子育て支援センター」の視察と明石市の取り組みについて、市子ども局子育て支援室子育て支援課の森岡計民課長から聞き取りをする。同市は、子育て支援「5つの無料化」(①医療費無料化を高校卒業まで②学校給食の無償化【同市では給食の実施が中学生だけなので、中学生のみが対象】③保育料第2子以降の無償化④子供の遊び場など公共施設の無償化⑤おむつの無償化)を起点として、人口・出生率・税収が増加している。市のPR冊子には「やさしいまちづくりが広がることで、市民の安心感が増し人口が増え、にぎわいが増し、税収が増え、さらに新たな市民サービスができる。これが明石の好循環です」と紹介されている。出発点が「やさしいまちづくり」ということに注目し、その中でも特に子育て支援に光を当てて聞き取りを行った。市が子ども局をつくったことに、その位置づけがよくわかる。明石駅前にある再開発ビル5階に「親子交流スペースハレハレ」と子ども図書館、プレイルームが作られ、そのフロアの一室が事務室となっている。「5つの無料化」のなかで、オムツの無料化(宅配事業)に注目した。取り組み始めたばかりで成果はまだ見えないが、市当局が、虐待の有無などを早期に発見できる仕組みとしても有効性を感じている、ということだった。財源については市の財政全体を見直し、特に公共事業の見直しをはかって作ったということだ。また、「国や県も必ず予算を付けるだろう」という見通しの下率先して取り組むことで財源を引き出す、という姿勢でも努力していることを聞いた。いずれの調査についても、2022年6月議会の一般質問でとりあげ、県の姿勢を質した。子育て支援と学生・若者への住宅支援はさらに探求を深めていきたい。</p>			
経費の内訳	支出内容	政務活動費 充当額(円)	主な品名	整理番号
	交通費	41,520	航空券代	8 29 30 31
	宿泊費			
	受講料			
	その他			
合計額		41,520		

同行議員：なし

目的：

子育て支援策が喫緊の課題とされるなか、兵庫県明石市は、全国で先駆けて「子育て支援 5つの無料化」にとりくみ成果をあげてきた。子育て支援を中心にした行政運営で街がどうか変わったのか、財政状況などの課題をどう克服したのか、本県に生かせる行政の姿勢がどこにあるのかを学び、本県の子育て支援策に生かすことを目的とする。

また明石市と神戸市をまたぐ大規模な団地（明舞団地）で、学生の入居を促進している事業から、学生や子育て世代にアプローチする住宅政策のとりくみを学ぶ。

日程：

2022年5月26日～28日

26日：自宅→青森空港→神戸空港→明舞団地のとりくみの聞き取り

27日：明石市で、「あかし子育て支援センター」の視察と聞き取り

28日：神戸空港→青森空港→帰宅

訪問先及び内容等：

2022年5月26日 明舞団地の学生の入居促進について

兵庫県がとりくんでいる学生シェアハウスのとりくみについて、事業実施当初から地元の自治会役員としてかかわってきた[]氏から話を聞いた。

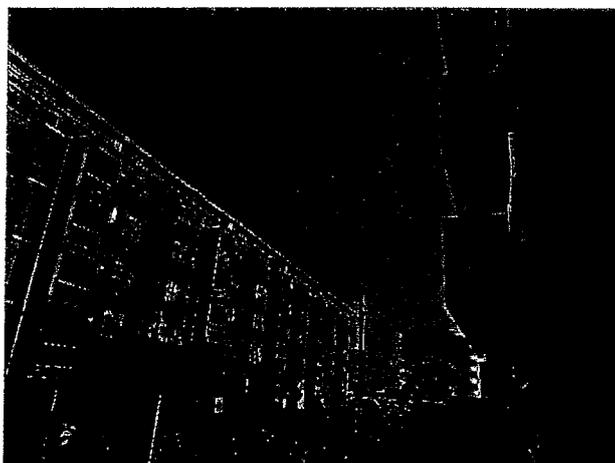
学生を対象に、低家賃（月17000円ほど）で県営住宅への入居をうながし、高齢化などにもなう地域コミュニティの活力低下を補う努力が行われている。

学生を受け入れる際の条件は、「自治会の毎月の定例会に出ること」と「挨拶をすること」の二つにし、難しくしないようにしている。高齢化が進む団地のなかに一人でも若者がいれば、団地が明るく変わるといい、学生が卒業する時には送別会もやるということで、団地みんなで学生を育てていく気風を感じた。[]氏は、学生一人ひとりの名前をあげて、その様子を語っていた。学生にとっては、福祉系の研究としても役立っているという。

高齢化がすすむ地域の活力をとりもどすという点で一つの努力と考えられる

と同時に、学生の側からみると、低家賃で住居が保障されることにメリットがあると思う。地域にとっても学生にとっても利点がある、ということがとりくみとして重要だと感じた。

ただ、学生が地域に溶け込むためには、「低家賃」「町会への出席」というだけでは難しい側面もあるとのことだった。学生の受け入れ数は制限があり、劇的に何かが変わっているということでもない。また、学生を対象にしているため、地域への定住にはつながっていない。本県で考えた場合、団地周辺に多くの大学が集中的に存在するという地理的条件は、一部地域にとどまる。子育て世代も含めて若者への支援としてどう具体化できるか、探究が必要だと思った。



※写真＝学生を受け入れていた団地の一つ

2022年5月27日 明石市の子育て支援策について

「あかし子育て支援センター」の視察と明石市のとりくみについて、市こども局子育て支援室子育て支援課の森岡計民課長から聞き取りをする。

同市は、子育て支援「5つの無料化」(①医療費無料化を高校卒業まで、②学校給食費の無償化[同市では給食の実施が中学生だけなので、中学生のみが対象]、③保育料第2子以降の無償化、④子どもの遊び場など公共施設の無償化、⑤オムツの無償化)を起点として、人口、出生率、税収が増加している。市のPR冊子には、「やさしいまちづくりが広がることで、市民の安心感が増し、人口が増え、にぎわいが増し、税収が増え、さらに新たな市民サービスができる。これが、明石の好循環です」と紹介されている。出発点が「やさしいまちづくり」という

ことに注目し、そのなかでも特に、子育て支援に光をあてて聞き取りをおこなった。

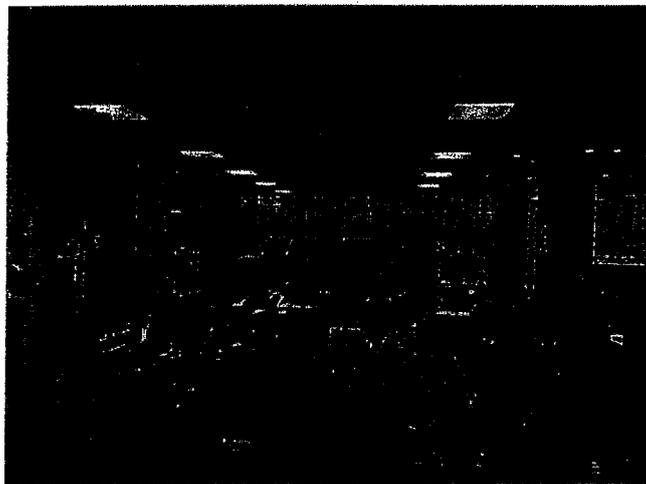
市が「こども局」をつくったことに、その位置づけがよく分かる。明石駅前にある再開発ビル（パピオスあかし）5階に、「親子交流スペース『ハレハレ』」と子ども図書館、プレイルームがつくられ、そのフロアの一室が事務室となっている。「親子交流スペース『ハレハレ』」は、オープン前から親子連れが待っている状況で、その待機時間はプレイルームや子ども図書館で時間を過ごす、という仕組みになっており、「子育てが中心の街づくり」を体現している場所となっていた。なおこの再開発ビルをつくる経緯について、日本共産党明石市議団から話を聞いたところ、「当初は役所の窓口をつくる予定だったが、市長がかわり、図書館と子育て支援の拠点とすることにした」とのことだった。何を軸に行政運営をするかで未来が変わるということを実感するエピソードだった。

「5つの無料化」のなかで、オムツの無料化（宅配事業）に注目した。3ヶ月～1歳の子どもにオムツなど希望する子育て用品を毎月お届けするシステムで、見守りと一体にとりくんでいることが、独自に魅力となっている。オムツなどの育児グッズは、研修を受けた見守り支援員が届け、その際、子どもや保護者と面談し、様子を聞くようにしているということだった。とりくみはじめたばかりで、成果はまだ見えないが、市当局が育児支援員からの情報を持ち、虐待の有無などを早期に発見できる仕組みとしても有効性を感じている、ということだったが。育児を孤立させないアウトリーチの支援として、非常に重要だと感じた。

財源については、市の財政全体を見直し、特に公共事業の見直しをはかってつくったということだった。当初は反発もあったそうだが、結果として人口が増えて建設需要が拡大したことで、建設業界にもプラスに働いている。また、「国や県も必ず予算をつけるだろう」という見通しのもと、率先してとりくむことで財源を引き出す、という姿勢でも努力していることを聞いた。



※写真＝親子交流スペース『ハレハレ』



※写真＝プレイルーム。窓から明石城が見える

いずれの調査についても、2022年6月議会の一般質問でとりあげ、県の姿勢を質した。子育て支援と学生・若者への住宅支援はさらに探究を深めていきたい。

以上

政務活動実績報告書

議員名 吉俣 洋

経 費	調査研究費			
年 月 日	場 所	訪 問 先 等	概 要	整理番号
04. 04. 21	青森市長島	日本共産党会派	所属会派の事務用品の購入等に充てるための共通経費(4月分)	4
04. 05. 19	青森市長島	日本共産党会派	所属会派の事務用品の購入等に充てるための共通経費(5月分)	9
04. 06. 20	青森市長島	日本共産党会派	所属会派の事務用品の購入等に充てるための共通経費(6月分)	11
04. 07. 19	青森市長島	日本共産党会派	所属会派の事務用品の購入等に充てるための共通経費(7月分)	16
04. 08. 19	青森市長島	日本共産党会派	所属会派の事務用品の購入等に充てるための共通経費(8月分)	21
04. 09. 20	青森市長島	日本共産党会派	所属会派の事務用品の購入等に充てるための共通経費(9月分)	22
04. 10. 19	青森市長島	日本共産党会派	所属会派の事務用品の購入等に充てるための共通経費(10月分)	43
04. 11. 18	青森市長島	日本共産党会派	所属会派の事務用品の購入等に充てるための共通経費(11月分)	46
04. 12. 17	青森市長島	日本共産党会派	所属会派の事務用品の購入等に充てるための共通経費(12月分)	51
05. 01. 20	青森市長島	日本共産党会派	所属会派の事務用品の購入等に充てるための共通経費(1月分)	56
05. 02. 20	青森市長島	日本共産党会派	所属会派の事務用品の購入等に充てるための共通経費(2月分)	59

第3号様式(第2条関係)

(その2)県内における宿泊を伴わない政務活動用

政務活動実績報告書

議員名 吉俣 洋

経 費	調査研究費			
年 月 日	場 所	訪 問 先 等	概 要	整理番号
04. 05. 11	弘前市城東北	JAつがる弘前組合長	水田活用交付金見直しについて意見交換	25
04. 05. 12	平内町茂浦	青森県産業技術センター水産総合研究所所長	気候変動のもとでの漁業について意見交換	26
04. 05. 22	十和田市奥瀬	惣部牧場広場展望台、十和田山新道掘道、石合邸	十和田古道の現地調査	27,28
04. 05. 30	東北町上野	JA十和田おいらせ上北支店関係者	水田活用交付金見直しの影響、畜産・酪農について意見交換	32,33,34
04. 07. 22	弘前市中別所	弘前第一養護学校小・中学部	特別支援教育の視察調査	37
04. 08. 14	鱒ヶ沢町舞戸、深浦町深浦	鱒ヶ沢町役場、深浦町役場	大雨による被害現地視察	39
04. 08. 18	青森市浪岡	浪岡地区のりんご園地	りんご園地の視察及びりんご生産者と農林水産関連原油・原材料価格高騰対策事業について意見交換	40
04. 08. 21	つがる市木造	つがる市役所	大雨による水田被害調査	41
04. 08. 31	弘前市扇町	健生病院院長	コロナ発熱外来・コロナ病床の状況について懇談	42
04. 11. 28	弘前市富野町	弘前総合医療センター院長	医師不足とコロナ禍のもとでの実情について懇談	48,49,50

領収書等の写し集計表

経 費	研修費				
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	備考
12	04. 06. 30	23,800	株式会社自治体研究社	Zoom参加費・テキスト代	
14	04. 07. 07	1,220	Peatix	参加費	
24	04. 09. 22	10,500	株式会社自治体研究社	Zoom参加費受講料・テキスト代	
合 計		35,520			

領収書等の写し集計表

経 費	広聴広報費				
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	備考
5	04. 04. 25	1,650	Digi-TAO	ホームページ更新料	
15	04. 07. 14	1,650	Digi-TAO	ホームページ更新料	
17	04. 07. 25	192,528	若葉孔版社	よしまた洋活動報告印刷代	
18	04. 08. 01	15,000	日本共産党東青地区委員会	よしまた洋活動報告印刷代	
20	04. 08. 18	62,636	ワイエス(株)ミッド事業部	活動報告配布料	
52	04. 12. 26	2,475	Digi-TAO	ホームページ更新料	
54	04. 12. 28	528,000	若葉孔版社	よしまた洋県議会報告印刷代	
57	05. 01. 23	373,948	ワイエス(株)ミッド事業部	チラシ配布料	
合 計		1,177,887			

支出証明書

NO. 1

経費		会議費				
整理番号	支出年月日	支出額	支出先	品名	事業名、用途及び内容	備考
35	04. 07. 07	1,040	0	ガソリン代	高品質りんご生産に係る現地 激励会に出席 04. 07. 07 青森市浪岡吉野 田	20円×52km
38	04. 07. 27	120	0	ガソリン代	高レベル放射性廃棄物の最 終処分に関する対話型全国 説明会に参加 04. 07. 27 青森市安方	20円×6km
計		1,160				

上記のとおり相違ないことを証明します。

青森県議会議員

吉俣 洋



